

『平成19年度 街なか再生NPO助成金』

助成事業の報告

本助成金の募集につきましては、今年の2月1日から3月31日までの2ヶ月間行ったところ、北海道から熊本県までの18道府県から22件の応募をいただきました。応募いただいた申請書類にある、すべての事業を各選考委員が確認し、選考委員会で助成対象が決定いたしました。

下記の5件を対象に総額1,993,400円の助成を行います。

■ 平成19年度助成事業一覧

事業名	団体名	実施場所
アート商店街再生計画	株式会社 土澤まちづくり会社	岩手県花巻市
大田原宿あらまち蔵屋敷	特定非営利活動法人 おおぞら	栃木県大田原市
地域まるごとミュージアム「まちかどミニ博物館、お宝発見伝」事業	NPO 法人 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム	千葉県館山市
鉄道のまち米原エコミュージアム	特定非営利活動法人 FIELD	滋賀県米原市
街なか子育てサロン～『子育て家庭と商店街のご縁作り』～事業	NPO 法人 Com 子育て環境デザインルーム	和歌山県田辺市

事業名称	アート商店街再生計画
団体名	株式会社 土澤まちづくり会社
事施場所	岩手県 花巻市

事業概要:

萬鉄五郎記念美術館との連携で行われる企画展を通じた商店街の持続的な商業の再生

- ・商店街における街なか展示の研修
- ・宮沢賢治絵本原画展に併せた街なか展示実践
- ・街かど美術館での各商店の販売促進の実践

実施報告:

- ・ 地元の旧東和町出身の洋画家萬鉄五郎や作品の舞台ともなった宮沢賢治に関連した企画イベントを通じたアートの取組みと商店街自身の持続的な商業の再生に取り組んだ。

(主な実施事項)

- ・ 商店街における街なか展示の研修
- ・ 2回の企画展での実践
 - 宮沢賢治の絵本絵画展に併せた街なか展示
 - 街かど美術館での各商店の販売促進の実践

参考資料【写真集】



企画会議の様子



地元作家から指導を受けて展示の勉強



土沢音楽祭 (関連イベント)



布ぞりりのワークショップ (関連イベント)



萬美術館学芸員から指導を受けて展示



展示用パネル等も地域住民が作成



街かど美術館時の雰囲気



竹を使った音のアート



賢治展オープニングセレモニー



空き家を使った展示風景



「キモカワイイ」で人気のあった作品



お店のイメージにあわせた書家の作品



地元演出家による演出グッズの展示 (宮沢賢治)



地元作家による商店の一角を使った展示



店主が趣味としてやっている作品を展示



お店の軒先を使った常設展示 (赤い顔)

事業名称	大田原宿あらまち蔵屋敷
団体名	特定非営利活動法人 おおぞら
事施場所	栃木県 大田原市

事業概要:

空き店舗を利用した住民間・異世代間などのコミュニティを復活させるため、中心市街地の交流拠点づくり。拠点には明治 39 年建造の土蔵の空き店舗を一部改修して利用。

実施報告:

- ・ 改修して再利用した明治 39 年建造の土蔵を拠点に、中心市街地の住民間・異世代間などの交流を促進しコミュニティを復活させるため、地元が起源とされるとうがらしを活かした各種のまちづくり活動を行った。

(主な実施事項)

- ・ 街なかの交流促進のイベントの実施
- ・ あらまち蔵屋敷を拠点にした日常的交流の実現



事業名称	地域まるごとミュージアム「まちかどミニ博物館、お宝発見伝」事業
団体名	NPO 法人 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム
実施場所	千葉県 館山市

事業概要:

- ・空き店舗等を活用した「まちかどミニ博物館」の常設化及び拡充
- ・各個店にお宝を展示しスタンプラリー等を行う「お宝発見伝」事業の推進
- ・来訪者への「まちなかお宝発見マップ(仮称)」の提供

実施報告:

- ・ NPO と商店街等を中心とした地域連携により、市民・商業者等一人ひとりが来訪者を迎え入れる「もてなしの心」の醸成、商業空間を活用した地域の歴史を学ぶ環境の整備と人材の育成を図った。

(主な実施事項)

- ・ 空き店舗等を活用した「まちかどミニ博物館」の常設化及び拡充
- ・ 各個店にお宝を展示しスタンプラリー等を行う「お宝発見伝」事業
- ・ 来訪者への「まちなかお宝発見マップ(仮杯)」の提供



事業名称	鉄道のまち米原エコミュージアム
団体名	特定非営利活動法人 FIELD
実施場所	滋賀県 米原市

事業概要:

鉄道のまち米原が、区画整理事業により新たなまちとして生まれ変わる中で、米原駅周辺の新たな魅力を創造する活動を目指す。

- ・「国鉄 OB 座談会」の実施
- ・国鉄時代の「思い出の品の展示」
- ・国鉄時代の米原駅を再現した鉄道模型づくり
- ・米原駅周辺市街地の未来(米原駅東部区画整理事業等)へ市民で提言するフォーラム実施

実施報告:

- ・ 米原在住の元国鉄職員を中心に集まり、国鉄時代の米原の歴史を学んだほか、市民団体(米原地域鉄道部、せかい創造都市会議、こほく共同オフィスたまるん等)と連携し、昔の米原駅の様子を復元した鉄道模型展を実施した。

(主な実施事項)

- ・ 鉄道模型製作
- ・ 「語り継ごう米原の鉄道史」の実施



座談会05.JPG



座談会06.JPG



模型づくり03.JPG



模型づくり04.JPG



座談会07.JPG



座談会08.JPG



模型展示05.JPG



模型展示06.JPG



模型づくり01.JPG



模型づくり02.JPG



模型展示07.JPG



模型展示08.JPG

事業名称	街なか子育てサロン～『子育て家庭と商店街のご縁作り』～事業
団体名	NPO 法人 Com 子育て環境デザインルーム
事 施 場 所	和歌山県 田辺市

事業概要:

- ・商店連合会のテナントオフィス整備
(赤ちゃんや小さな子供が過ごしやすく親も安心できるサロンの整備)
- ・サロン運営商店街の情報提供とサービス検討
(商店街・商店に呼びかけて、商店情報・セール情報をサロン利用者への提供の検討)

実施報告:

- ・ 商店街の中で赤ちゃんや小さな子供が過ごしやすく親も安心できるサロンの整備の一環としてテナントの整備を行い、そのテナント部で保育ルームや子育て中の親を対象としたプチ講座、カフェ利用といったサロン運営を行った。

(主な実施事項)

- ・ テナント整備
- ・ サロン運営

2008/2/26 火曜日

子育てプチ講座より～カブラであそんだよ!～

去年の11月より月に2、3回のペースでそらまのhouseで始めた子育てプチ講座。
基本は月曜日の午前中(企画により他の曜日もあります)、子育て中のママ(こ)んなの情報や体験を提供できればと始まりました。

いつもは平日なので来るママ層は未就学児のママ達とその子ども。元保育園の園長さんによる子育てのお話や、絵本の読み聞かせなどを講師の方にお願いして行っていました。

そして今回は対象を少し変えて土曜日の午後(年長～小学生の子どもたちとカブラ遊びを行いました)。

講師に来てくれたのは田辺市の駅前にあるおもちゃ屋「ヨネクラ」のご主人で、カブラおじさん(カブラのおもちゃあそびの)名人です。

カブラとはフランスで生まれた木の積み木です。単なる木に見えますが測りたてでも計算された形で、子どもたちはそれを考えるのびななく感じるのだそうです。

少しのお話のあと、実際にみんなで積んでみました。目標は自分の積ま、つめるかな～～～?



倒れるのも経験。

そして高く積めたタワーを倒します。これがかなり気持ちいい。
子どもより大人のほうが夢中です。



2008/3/11 火曜日

子育てプチ講座より～第1回お絵かき教室開催しました～

2月23日の土曜日、そらまのhouseでやのどもさんのお絵かき教室(第1回目)が開催されました。

参加者は子ども4人、大人4人の8名。

やのどもさん(以前この子どもの森新聞で紹介した、龍神在住のイラストレーター)です。

今回は「バステルをつかってポストカードをつくらう」ということで、みんなでバステルに挑戦。



机をかこんで膝ま真剣、バステルのつかい方、ゴムの使い方、描きたいものを考えます。

バステルは手を使って書くので(そうでもない方法もあるのかも知れませんが)、子どもにも難しくありません。

でも終わってみての感想は、子どもより大人が夢中になっていました!

何かと急用する時間がないお母さんたちにとって、この時間までとても時間になったようです。

